

五木地域森林整備推進協定 森林情報活用WG・路網戦略WG・コスト低減WG
第1回合同会議 議事要旨

1. 日時 平成28年12月9日(金) 10:00~12:00

2. 場所 五木村役場大会議室

3. 出席者

(委員)

○ 協定者

中林 博之 (国研)森林総合研究所森林整備センター
熊本水源林整備事務所 所長
片岡 明人 住友林業(株) 資源環境本部 技師長
那須 主隆 九州横井林業(株) 代表取締役
塩見 幸義 王子木材緑化(株) 大阪支店日向営業所 所長
瀬邊 明 日本製紙(株) 原材料本部林材部 部長
山本 敏博 日本製紙木材(株) 西日本支店八代営業所 所長代理
兼 営林グループ長

○ 学識経験者

藤掛 一郎 宮崎大学農学部 教授

○ 行政機関

古賀 英雄 熊本県農林水産部森林整備課 審議員
簗田 公彦 熊本県球磨地域振興局農林部 林務課長
黒田 龍司 八代市農林水産部水産林務課 参事
下内 泰臣 五木村 農林課長
富永 得治 相良村産業振興課 林務係長
今村 禎志 山江村産業振興課 主幹

○ 森林組合

福田 健二 八代森林組合 参事
中野 重実 五木村森林組合 参事
土肥 洋 相良村森林組合 参事

○ オブザーバー

伊東 俊昭 (一社)日本プロジェクト産業協議会 事業企画部長

(林野庁)

池田 秀明 林野庁経営企画課 企画官
池田 直弥 九州森林管理局 局長
中村 道人 九州森林管理局 次長
井堀 秀雄 九州森林管理局 企画調整課長
濱田 秀一郎 熊本南部森林管理署長

(事務局)

4. 主な発言

(民国共通図面の作成について)

- ・ 国有林が所有しているGISデータ、熊本県庁に提供いただいた民有林のGISデータを集めて、林小班の区域を表す基本的な図面を作成。今後は、林業専用道のGISデータを図面に重ねていく予定。
- ・ 図面を作ることがゴールではなくて、これを上手く活用していくことが重要。協定者の施業予定情報を図面上に共有することによって、施業集約化や路網整備、高性能林業機械の導入等について戦略的に進められると思っている。
- ・ 共同施業団地周辺の個人所有の森林にも、協定に参加してもらうよう働きかけを積極的に行うべき。路網の整備や中間土場の活用などの面で、相互にメリットを見いだせるのではないか。

(路網の将来路線図の作成について)

- ・ 路網計画図の作成に係る最も基本的な情報ということで、資源量データや傾斜などのデータについて、森林簿や国土地理院のデータを使って情報を集約。今後は、各協定者の路網整備の予定を集約しながら、将来路線図の原案を作成。
- ・ 今年度は林業専用道について検討し、将来的には森林作業道も考慮したものに改訂する予定。
- ・ 路網整備については、協定者それぞれの考えがあるので、個別の打ち合わせを行うなど細かな対応をお願いしたい。

(中間土場の活用について)

- ・ 現在は、五木村の村有林から生産される材のみを取り扱っている状況。今後は、取扱いの対象を拡大していくことも検討。
- ・ 協定者によっては直送が中心となっている場合もあるので、この中間土場をどのように活用していくかは継続して検討していきたい。運搬コストの低減についても、しっかり試算してみることが必要。

(その他)

- ・ 高性能林業機械の共同運用をはじめ、目標達成に向けて議論すべき課題は多い。こうした会議だけでなく担当者による打ち合わせも行い、取組の加速化を図るべき。
- ・ 今後、この取組を継続していく中で、もっと森林総合監理士が中心となって取組を進めていくべき。

など